

第13期 (2026年度)

ジャーナリズム公開講座(全9回)

第4回 7月23日(木) 18:30~20:30

災害報道の手法と在り方

災害時にメディアはどのように情報を収集し、何を重視して発信してきた／すべきなのか。30年にわたり災害の前線で取材指揮にあたってきた講師が、5つの局面に分けて手法やポイント、今後の課題を解説。

SlowNews プロデューサー 熊田安伸



【講師略歴】1967年岐阜県生まれ。早稲田大学卒。90年NHK入局。沖縄局、報道局社会部で「公金」をテーマに調査報道。新潟局、仙台局で震災報道を指揮。2006年、スクープの取材源をめぐって民事裁判で争い、最高裁が記者の取材源秘匿を認める初判断を示す。17年、ネットワーク報道部設立に尽力。「政治マガジン」「AIリポーターヨミ子」「NHK取材ノート」などを開発・運営。21年、ウェブメディアSlowNewsに移籍。NPO報道実務家フォーラム理事。NHKスペシャル「追跡復興予算19兆円」でギャラクシー大賞など。「調査報告 日本道路公団」で芸術祭優秀賞。著書に『記者のための災害前線報道ハンドブック』『記者のためのオープンデータ活用ハンドブック』。

申込方法(無料・要事前申込/先着)

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記のホームページからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。



●申込期限

7月22日(水)17:00

ご登録いただきました個人情報は、本講座の運営及び当センターが開催する講演会等の案内のみに使用します。

静岡県立大学グローバル地域センター <https://www.global-center.jp/>

電話: 054-245-5600 E-mail: nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:西)